

<h1>議事録</h1>		作成日	令和5年7月16日（日）
		作成者	総務部 総務課
会議名	第1回宮津市庁舎基本構想等検討委員会		
開催日時	令和5年7月16日（日） 10:00 ～ 12:30	開催場所	宮津市防災拠点施設
出席委員	青山 公三：京都府立大学 名誉教授 杉岡 秀紀：福知山公立大学 准教授 大門 大朗：福知山公立大学 准教授 岡田 栄三：宮津市自治連合協議会 会長 黒岡 芳子：宮津市地域女性の会 会長 北尾 ひとみ：宮津市民生児童委員協議会 監事 山口 孝幸：宮津商工会議所 専務理事 笠井 裕代：特別養護老人ホーム天橋の郷 施設長 井上 真哉：京都府建築士会宮津支部 常任幹事		

内 容	
1	開会
2	<p>市長あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市庁舎の整備に向けた基本構想や基本計画の策定にあたり、幅広い見地から助言や提言をいただきたいと考え、この検討委員会を設置した。</li> <li>・市役所本館は昭和37年に竣工し60年が経過した。</li> <li>・本館、新館、別館とも耐震基準を満たしておらず、今後、発生が予測される南海トラフ地震に耐えうる構造になっていない。</li> <li>・老朽化が著しく、加えてバリアフリー化されておらず、市民の皆様に大変ご不便をおかけしている状態。</li> <li>・平成29年に、ミップル4階に福祉部局と教育部局が移転したことにより、分散庁舎となっており、行政機能的にスムーズさに欠ける状況。</li> <li>・かねてより、庁舎整備の議論はあったが、非常に厳しい財政状況にあることから、他の事業を優先して取り組んできた。</li> <li>・しかし、庁舎の整備、更新はこれ以上先送りできない。</li> <li>・昨年には、市民アンケートを実施し、また、市民中心とした「未来の庁舎を考える市民会議」から整備の方向性について提案をいただいたところ。</li> <li>・これらを踏まえ、委員会からご提言をいただきたい。</li> <li>・ご提言は、議会に報告し、市民や関係者のご意見を聞かせていただいたうえで、市として基本構想や基本計画を策定する。</li> </ul>
3	<p>委員紹介</p> <p>各委員のご紹介（市事務局）</p>
4	<p>宮津市庁舎基本構想等検討委員会の概要について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宮津市庁舎基本構想等検討委員会設置要綱（所掌事項・組織・委員長・会議）について、説明（市事務局）</li> </ul>

- ・今年度に3回の開催を予定している。(市事務局)

## 5 委員長選出

- ・委員長選出について、市事務局へ推薦依頼(委員会)
- ・市総合計画策定委員会において委員長を担っていただき、市に精通している青山委員を推薦(市事務局)
- ・市事務局推薦について、委員総意により可決(委員会)

### 【市長から委員会へ諮問書の提出】

(諮問内容)

- 1 宮津市庁舎の整備に向けた基本構想に関すること
  - ・庁舎の基本的コンセプト
  - ・整備の方向性

### 【委員会成立報告】

- ・宮津市庁舎基本構想等検討委員会設置要綱第5条第2項の規定により、委員の過半数が出席していることから、本会議が成立していることを報告(市事務局)

### 【委員長職務代理者】

- ・委員長職務代理者について、岡田委員を選出する。(青山委員長)

### 【委員会の公開・非公開】

- ・個人情報を取り扱う等の非公開要件に該当せず、広く市民に知っていただく内容であることから、公開としたい。(市事務局)  
→事務局案を承認し、公開とする。(委員会)

## 6 議事

### (1) 市庁舎に係る基本的事項

- ① 現有庁舎の状況、基本的事項
- ② 市民アンケートの結果
- ③ 未来の庁舎を考える市民会議の状況
- ④ 先進事例の紹介

【資料3に基づき、市事務局より説明】

## 7 協議・検討

### (1) 整備手法シミュレーション

【資料4に基づき、市事務局より説明】

### 【委員意見】

- ・郵便局など、他公共施設に近い立地条件を選んでほしい。
- ・ミップルでの集約方式が良い。
- ・別館との集約化を進めるべき。
- ・建築費が市民の気になる点。
- ・庁舎の防災機能は大事。水害、津波、地震、土砂など、あらゆる災害の全てを想定することが

難しいが、まずは耐震が大事。

- ・ 建築費ができる限りかからない方法を検討すべき。未来に課題を残さない庁舎の在り方が大事。
- ・ 市役所が誰のものであるかを第一に考えるべき。
- ・ 現在は、市役所の執務環境が悪い。
- ・ 災害時に市役所が機能しなくなることは、非常事態。
- ・ デジタル化が大事。今住んでいる方だけでなく、宮津を応援するファンなど、庁舎のあり方に関与することができる仕組みもある。
- ・ 庁舎問題を市民に考えてもらうことが大事。
- ・ ミップルへの入居ができるなら、現実的ではないか。
- ・ 立地場所では、防災面が大事だが、どこなら大丈夫と考えるのは難しい。
- ・ 現庁舎の歴史的価値は非常に高いが、耐震補強は現実的でない。
- ・ 現庁舎の歴史的価値を民間で活用してもらう方がよい。
- ・ 現在、現庁舎への荷重がかかっていることから、荷重が低い他の利用（レストラン・宿泊施設）により活用もできる。
- ・ 庁舎は、市民だけでなく、人が集う場所にするのが理想。
- ・ 歴史の館の会議室がたくさんあることから一部活用することもできるのでは。
- ・ 宮津会館、旧図書館も含めた一体的な活用の検討もいる。
- ・ シンボリックよりも市役所サービスの機能性を重視すべき。
- ・ 市への手続きも今後オンラインが進む中で、アクセスしやすい場所は優先順位が下がってくる。
- ・ 職場環境を良くすることで、市役所職員の業務効率が上がると考える。
- ・ 市民にとって利用しやすい庁舎（バリアフリー・防災面）にすべき。
- ・ 別館にトイレが無いから、別館の職員が本館までトイレに行くといった環境は、働きにくい。市役所職員にとって働きやすい環境を整えるべき。
- ・ 財政が厳しい中では、新築、建て替えは現実的では無い。財源が無いのあれば、ミップル移転で庁舎の集約化が選択肢になる。
- ・ ミップル内での会議室を活用することも検討の余地がある。
- ・ 庁舎の場所は、高齢者にとって慣れた場所、行きやすい場所がいいのでは。
- ・ 安全な避難場所としての機能があった方がいい。
- ・ 現在のミップルでの行政機能は残してほしい。
- ・ 現庁舎の活用の耐震化などにより、商用面で他利用ができればと考える。

#### 【青山委員長まとめ】

- ・ 行きやすい、利用しやすい、働きやすいを第1条件に、考え方の整理が必要。
- ・ 防災の機能が重要。過去の災害状況やハザードマップを基に立地場所を検討した方が良い。
- ・ 愛知県高浜市の庁舎建て替えでは、全て民間が整備し、市は賃貸料を払っているという例もある。ここでは、災害時には、防災機能を民間に担ってもらう仕組みがある。
- ・ 東京ディズニーランドでは、素晴らしい防災機能が備わっている。災害時の訓練もしっかり行われており、災害時用の食糧が確保されている。民間主体で進められている。
- ・ 京都の伏見区役所は、ハザードマップ上、浸水エリアとなっているが、災害時を想定し、防災機能が果たせるように仕組みがされている。
- ・ 市役所のデジタル化を進め、機能性を高めるべき。
- ・ ミップルへの移行案（集約方式）を残すとともに、その周辺部の活用も検討がいる。
- ・ 市役所の整備を民間が担い、建築後に市が買い取るといった例もある。これは、積極的な市民

参加により実現することができたもの。

#### 【委員意見】

- ・防災面では、福祉施設と近隣自治会とで契約をしており、災害時には福祉施設が避難所にできるようにしている例もある。
- ・歴史の館、旧宮津会館などのサウンディング調査の現状は？  
→民間から具体的な提案はなかったが、道の駅周辺のにぎわい創出により、歴史の館等の価値が高まり、活用されるのではといった意見をいただいている。(市事務局)
- ・現庁舎を民間への貸出により、家賃収入を財源にできる。
- ・市による安価な新築は、負債になってしまう。のちに活用ができなくなる。
- ・宮津天橋高校の一部を改修し、活用することもできないか。
- ・委員会への諮問内容から、現庁舎のあり方は、別会議を立ち上げた方が良い。
- ・災害とどうつきあっていくかが大切。
- ・防災面と市民の利便性の両立は非常に難しい。
- ・災害時において、市庁舎は、災害対策本部の拠点、避難所、罹災証明発行など手続きの場所。立地場所を検討する際に、何をやる所なのかを考えることが大事。
- ・委員会の場は公開なので、もっと市民の巻き込みがあればいいと思う。

#### 【青山委員長まとめ】

- ・ミップル移転への意見が多いので、市事務局で検討を加えること。
- ・宮津天橋高校などの他の施設の活用の可能性はあるのかどうか、島崎公園周辺施設の活用方法の市ビジョンがあるのか。
- ・防災面での意見が多いことから、ハザードマップを委員会で共有し、検討する。
- ・本委員会で、新庁舎がもし現庁舎の場所とは別の場所で整備するという事になった場合には、現庁舎の建物の利活用に関しては、本委員会とは別に検討していただいた方が良い。

#### 【市事務局】

- ・ミップルへの集約・移転、島崎エリアの建物活用、宮津天橋高校の活用など宿題をいただいた。
- ・相手方があるものもあるが、先方への打診も含めて、整備シミュレーションをさらに精査し、次回委員会でお示しする。